

令和7年度新川地域介護保険・ケーブルテレビ事業組合 CATV 放送センター  
ケーブルテレビ放送番組審議会だより

【放送番組審議会議事概要】

1. 開催日時

令和8年3月26日(木) 午後2時00分～午後3時15分

2. 開催場所

入善町健康交流プラザ サンウェル 研修室1

3. 出席委員(敬称略)

会 長 荻野 弘文(黒部まちづくり協議会)

委 員 梅津 将敬(入善町社会福祉協議会)

高野 晋((一社)黒部・宇奈月温泉観光局)

上澤 聖子((一社)朝日町観光協会)

篠田 真実(みな穂農業協同組合)

4. 議題

「2026年はいっこりお風呂イヤー」

放 送 日: 令和8年1月1日(木・祝)～ 8日(木)

番 組 尺: 90分

5. 番組への意見・感想(抜粋)

「2026年はいっこりお風呂イヤー」について

- ・富山の豊かな「お風呂文化」を、地元の銭湯や温泉、さらには東京の富山ゆかりの銭湯まで幅広く紹介する構成は、市民にとって非常に親しみやすく、地域資源の再発見につながる「わかりやすさ」がある。
- ・高岡出身の落語家・三遊亭美よし氏や、地元黒部のホテル関係者、アナウンサーという多彩な出演者により、単なる施設紹介に留まらない「おもしろさ」と、伝統文化や地域への敬意を感じる「品のよさ」が両立している。
- ・「ケロリン桶」のルーツの紹介や「ケロリンの歌」令和バージョンの初公開など、視聴者を飽きさせない独自の工夫が随所に見られた。
- ・県内CATV局の共同制作により、都内ロケを含む映像のバリエーションも豊富で、地域の魅力を丁寧に伝えている。
- ・番組が終わった後、SNSで出演者と視聴者が感想を言い合えるような仕掛けがあれば良かった。
- ・90分間をうまく複数の構成に分けてメリハリのある展開が好印象だった。

- ・「薪で沸かす」「背景タイル画」「レトロ感」など場所の空気感が映像を通じて丁寧に撮られていた。社会課題に対してのアプローチがよかった。
- ・番組の中では、銭湯のお湯は「熱い」という印象が強く出ていて、もう少し表現が工夫されていればよかったと思う。
- ・新春らしく出演者の着物姿が華やかだった。
- ・地域に愛されるお風呂、温泉をバトンタッチで紹介しているところがよい。
- ・女性の入浴シーンは不要。
- ・県内ネットワークで番組が制作され、また、少なくなった銭湯にスポットを当てたことが良かった。
- ・近年、若い世代を中心にサウナ人気が高まっており、「デジタルデトックス」や「非日常体験」といった価値観が注目される中で、本番組がサウナを取り上げている点は、時代の流れを的確に捉えていると思う。
- ・温泉とあわせて富山のグルメを楽しめる内容や、1日で巡るプランの提示により、実際の利用シーンを想像しやすく、視聴者にとって有益な情報提供になっていた。

■以上、委員の皆さまから頂いた意見・感想から一部をご紹介します。みらーれTVでは貴重なご意見を参考に、今後ともより地域に密着した番組づくりを目指して参ります。今後ともよろしくお願い申し上げます。